

第15回金融教育に関する小論文・実践報告コンクール

## 推奨実践事例賞

研究校部門

夢や希望をもち、自分らしい生き方を  
実践していく児童の育成

香川県・高松市立林小学校 教諭 石井 純子

知るぽると  
www.shiruporuto.jp

© 金融広報中央委員会 2018

## 1. はじめに

本校区は高松市の南部に位置し、上林町、林町、六条町より成っている。かつては落ち着いた田園風景の見られる自然豊かな地域であったが、今や所々にその姿を留めるに過ぎない。南部の空港跡地には、県立図書館をはじめ、工業技術研究所、頭脳化センター、サンメッセ、香川大学工学部等、技術・情報・文化の複合拠点として「香川インテリジェントパーク」の諸施設が整備されている。平成13年に、北部の国道11号高松東道路と高速道路をつなぐ高松中央インターチェンジが完成し、北部は国道11号高松東道路をはじめ、それに伴う都市計画事業が推進され、マンション・住宅の造成が進み、高松のベッドタウンとして急速な発展をみせている。今後ますます都市計画が進められ、2年後には、児童数が1,000名を超える見通しである。

平成28年度に実施した香川県学習状況調査の質問紙調査において、「将来つきたい仕事がある」と答えた本校児童の割合は県平均に比べて低い。将来の夢に向かって自分自身を磨き、高めながら自身の可能性を広げていくことは、これからの予測できない未来に生きる子どもたちには欠かせない力のひとつであり、この実態は、本校の大きな課題だと考えている。

本校の実態とこれから子どもたちが迎える未来を踏まえ、子どもたちに明るい将来へ進み出す原動力を、金銭教育を通して育みたいと考えた。

## 2. 実践の内容

### (1) 研究主題について

#### ①本校でねらう金銭教育

本校では、金銭教育を『未来をよりよく生きる力を育む教育』であるにとらえ、単に金銭が関わる学習内容にとどまらず、物を大切にすることや他者を大切にすること、自分の将来について見つめることも金銭教育のひとつであると考えている。小学校段階の子どもたちにとって、特にキャリア教育に関わる学習内容は、よりよく生きるための素地づくりにつながり、それは明るい未来に向かうための原動力になると考えている。各学年の発達段階や学習内容に応じて、子どもたちが幅広い体験をしたり、学んだりすることができるように、カリキュラムマネジメントの必要がある。

#### ②授業づくりに向けて

本校のねらう力を子どもたちに育むために、学習内容をどのように展開していくかについては、資料1で述べる現職教育計画に基づき、子ども主体の学習づくりを基本とする。

そのために、毎時間の学習内容に対する必要感を生み出す導入の在り方、学習課題を考える。また、子どもどうしが関わり合い、主体的に課題を解決できる学習形態を、子どもの実態に応じて設定する。そして、学びの連続性を生み出すためにリフレクション（振り返り）の時間を十分に確保する。

以上のような授業づくりの視点を基本とし、日々の学習を展開していくことで、子どもたちが学習を通して自らの可能性を広げていくことができるようにした。

### (2) 研究の方向性

資料2で述べるキャリア計画に基づいて、子どもたちに明るい将来へ進み出す原動力を、金銭教育を通して以下のように育成することとした。教科指導だけではなく、道徳教育や特別活動、総合的な学習の時間など、学校教育全体の活動をキャリア教育の観点から分析・教材化し、継続的な実践を目指す。以下に述べるような学習を通して、最終的に自己の将来の在り方について、子ども自身が見直し、実践できるようにしていく。

#### ①ものとお金

ものやお金の価値という側面から、子どもたちの未来をよりよく生きる力を育む。買い物をする学習活動だけではなく、自分たちの身の回りのものに着目し、多くのコストや様々な人の想いがつまっていることに気付いていく学習にも取り組んでいく。子どもたちの視野を広げ、子どもたちがものやお金に対する価値観を見直し、よりよいものにしていくことをねらう。(資料3 第5学年 家庭科「食べて元気!ご飯とみそ汁」と「めざそう買い物名人」によるストーリー性のある題材配列の工夫)

#### ②感謝

周囲の人に対する感謝の気持ちをもつことから、子どもたちの未来をよりよく生きる力を育む。社会は様々な仕事から成

立しており、全ての人が支え合い、協力し合って生活していることに気付くことのできるような学習活動を計画・実践していく。自分の身の回りの事象に対して関心を持ち、ものやお金、ひいては人を大切にすることができるようになることをねらう。(第4学年 社会科「水はどこから」)

### ③勤労

勤労の尊さに気付くことから、子どもたちが未来をよりよく生きる力を育む。本校区は、研究施設や大規模な商業施設が多数あることを活かし、子どもたちに自分たちのよりよい生活は、多くの人の働きによって成立していることを学習させていく。社会を構成している仕事は、それぞれ素晴らしい魅力をもっていることに気付き、自己の将来の在り方について考えることができるようになることをねらう。(第3学年 総合的な学習の時間「大すき 林の町」)

## 3. 実践を振り返って

本校では2年間にわたり、子どもたちが未来への一步を歩み出すための原動力を培うことができるよう、教科や領域を問わずあらゆる教育活動の中で、キャリア教育の視点に立った金銭教育を計画・実践してきた。そこで、これまでの実践を振り返り、子どもたちにどのような成長が見られたのかについて、アンケート結果をもとに考察する。

### (1) ものとお金

第5学年の児童は、前年度の学級活動で、香川県金融広報委員会の方を講師に招き、「ハンバーガーを作ろう」の学習を行った。この学習をきっかけに、ものやお金の大切さを学び、よりよい物の選び方やお金の使い方に興味をもち始めた。

第5学年になると、初めて習う家庭科の学習に興味・関心をもって、どの単元にも意欲的に取り組んできた。その中でも、「食べて元気！ご飯とみそ汁」と「めざそう買い物名人」は、単元を織り交ぜ、問題解決的な学習を取り入れることで、実践的な態度を育てることができた。実生活をイメージして、みそ汁に入れる具材を選び、材料を買う「買い物」と、ご飯とみそ汁の「調理」を一連の流れとして学習することで、身近なものの選び方、買い方を自分のこととして捉え、実習し、学ぶことができた。

また、栄養教諭と連携して学習を展開し、栄養についての専門的な知識や情報を得て、食品を組み合わせるバランスよく食べることの必要性を学んだ。そして、給食で食べている、いろいろなみそ汁を示し、多種多様な食材を、みそ汁で簡単に美味しく食べられることや、一緒に食べ合わせることで栄養を補うことも、円グラフを見て視覚的に捉えることができていた。

これらのことから、アンケートの「給食は残さず食べていますか？」という問いに対して、肯定的に回答した児童が、約23%も増加したことは、2年間を通した大きな成果と言える。

### (2) 感謝

第4学年では、社会科「水はどこから」の学習で、生活の中で使う水が多くの人々の努力によって安定的に供給されていることを学習した。水不足に悩む香川県に住む私たちにとって、いかに水が大切なものであるかを学び、学習の終末では、今後の水との関わり方について、自分の生活と結び付けて考えることができた。

この取り組みによって、「みんなが使う物を大切にしていますか？」という問いに対して、肯定的に回答した子どもが約10%増加したことは、本実践の大きな成果と言える。

特に、単元計画の中に、香川用水に関わる歴史学習を取り入れたことは、子どもたちの水に対する考えを深めることができた大きな要因だと考えられる。今の私たちが水をいつでも使うことができるようになっているのは、これまでの先人の努力が隠されていることに子どもたちが気付いた時、水を大切に使う姿勢が多々見られるようになった。歴史学習と現代の水道の仕組みの両方を学んだ子どもたちだからこそ、今後の水との関わり方を具体的なプランを挙げて考えることができた。子どもたちの空間的な視野と時間的な視野を広げる単元計画の有用性を感じた。

### (3) 勤労

第3学年では、総合的な学習の時間「大すき 林の町」の学習の中で、私たちの住む林校区には、様々な魅力あふれる仕事があり、多くの方々の努力と知恵によって私たちの生活がより便利で快適なものになっていることを学習した。その中で、働くことの意義や大切さに気付くことができた。

この取り組みによって、「係や当番の仕事はきちんとしていますか？」という問いに対して、肯定的に回答した子どもが11%増加したことは、本取り組みの大きな成果と言える。

この結果を生み出した大きな要因は、林の町の魅力を働く人やお客さん、施設などのすばらしさを観点別に色分けする活動である。グループで話し合いながら活動に取り組むことで、働く人への気持ちや想いにも少しずつ気付くことができ

た。さらに、それらが町の人のためにあることにも気付いた。体験的な活動を通して、子どもたちは、林の町のすばらしさを感じ、私たちの生活を支える仕事に誇りや愛着をもつことができるようになった。

#### 4. 実践の成果について

---

---

上記以外にも多数の取り組みが各学年で実践されており、それぞれのねらいに応じて子どもたちは少しずつ変容しつつある。金銭教育及びキャリア教育の視点で授業づくりを見直し、実践することで、子どもたちは学力面だけでなく、生活の中での生きる力を培うことができた。自分たちの身の回りにあるものや人に対しても、見方や考え方が変わってきており、今後も継続的に指導していくことで、子どもたちにとって未来へと歩み出す原動力を培うことができると考えている。

また、金銭教育の実践に取り組む中で、単独の教科だけでなく、教科横断的なカリキュラムマネジメントを組み、金銭教育を柱に据えて教育する重要性や価値を、職員全体で感じた。

#### 5. これからの取り組み

---

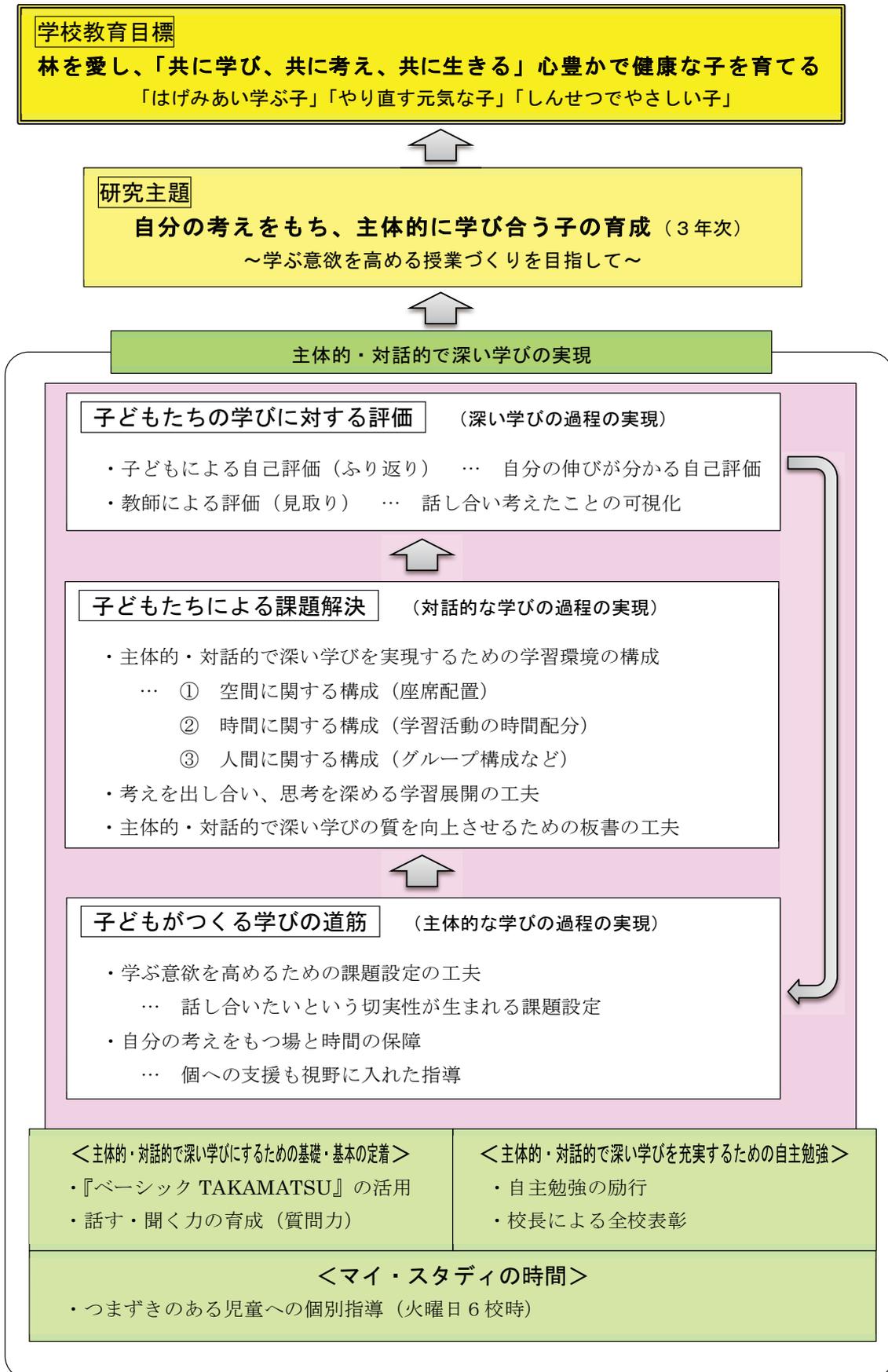
---

アンケート結果から、本校がねらう未来への原動力のもとと考える将来の夢に関して、大きな変容は見られなかった。この結果は、継続的な学習指導の必要性を示していると考えられる。

学習を組み立てる際には、その時間ごとの教科のねらいがある。そのねらいへの道筋は子どもの実態や関心・意欲に応じてアレンジできる。その学びの道筋をキャリア教育の観点から組み立てていくことで、今後も継続的に子どもたちの「未来をよりよく生きる力」を育んでいきたい。

資料1 現職教育計画

本校の研究構想



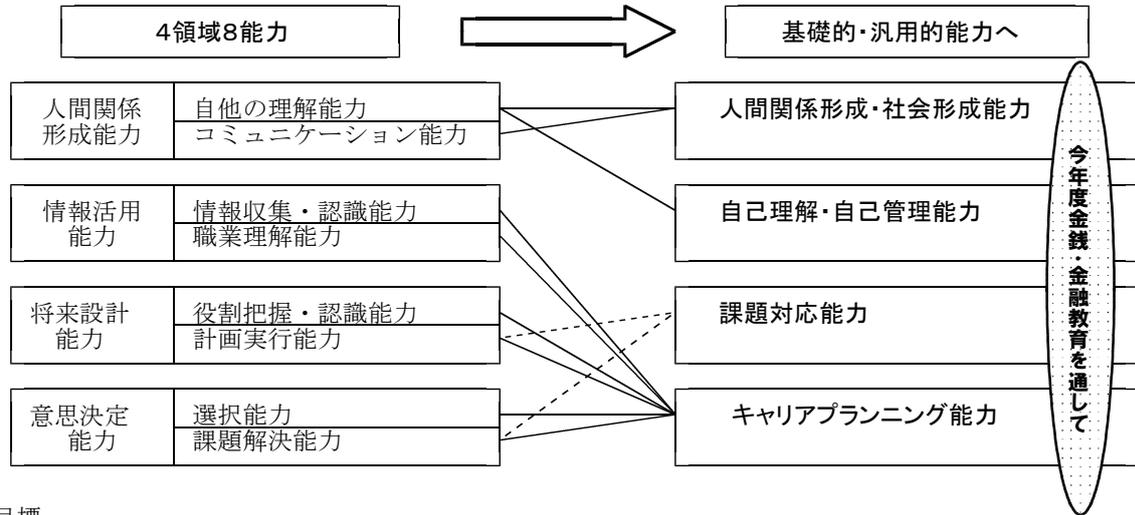
資料2 キャリア教育計画

1 定義

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す教育

キャリア発達・・・社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現していく過程

2 キャリア発達における能力



3 目標

- ・将来に夢や希望をもち、その実現に向けて努力しようとする児童を育てる。
- ・望ましい勤労観・職業観と主体的に進路を選択する能力や態度を育てる。
- ・将来の社会的自立・職業的自立の基盤となる資質・能力・態度を育てる。

4 学年の目標

	目 標	金銭・金融教育のめあて	系 統 図										
高 学 年	苦手なことや初めて経験することに失敗を恐れず取り組み、そのことが集団の中で役立つ喜びや自分への自信につながるようにする。	①問題解決能力を高め、学習の場でものやお金の価値を生かすことができる。 ②周囲の人に感謝の気持ちをもって接し、ものやお金を大切にすることができる。 ③勤労の尊さに気付き、進んで働くことができる。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">外国語活動</td> <td>日常生活</td> <td>各教科</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">総合的な学習</td> </tr> <tr> <td>特別活動</td> <td>道徳</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">基礎的</td> </tr> </table>	外国語活動	日常生活	各教科	総合的な学習	特別活動	道徳	基礎的			
外国語活動	日常生活	各教科	総合的な学習										
	特別活動	道徳											
基礎的													
中 学 年	友だちのよさを認め、協力して活動する中で、自分の持ち味や役割を自覚することができるようにする。	①ものやお金の価値について正しく考えることができる。 ②身近な人々への感謝の心をもち、ものやお金を大切にすることができる。 ③働くことの大切さを知り、協力して働くことができる。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>日常生活</td> <td>各教科</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">総合的な学習</td> </tr> <tr> <td>特別活動</td> <td>道徳</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">汎用的能力</td> </tr> </table>	日常生活	各教科	総合的な学習	特別活動	道徳	汎用的能力				
日常生活	各教科	総合的な学習											
特別活動	道徳												
汎用的能力													
低 学 年	自分の好きなこと、得意なこと、できることを増やし、様々な活動への興味・関心を高めながら意欲と自信を持って活動できるようにする。	①ものやお金の大切さに気付くことができる。 ②身近な人々に感謝の気持ちをもつことができる。 ③友だちと仲良く仕事をすることができる。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>日常生活</td> <td>各教科</td> </tr> <tr> <td>特別活動</td> <td>道徳</td> </tr> </table>	日常生活	各教科	特別活動	道徳						
日常生活	各教科												
特別活動	道徳												

5 各学年の重点指導 年間計画作成

☆ 金銭・金融教育に関連するもの

( 1 )年

	教科・道徳	特別活動
4	道徳「たのしいがっこう」「ひとりでできるよ」☆	児活「1年生を迎える会」 児活「縦割り活動」  学活「もちものをたいせつに」  児活「人権集会」 学活「カレンダーを作ろう」  学活「大きくなったわたしとぼく」 児活「6年生を送る会」
5	道徳「あたらしいのち」	
6	生活「がっこうでみつけたことをはなそう」 道徳「わたしたちの道とく」☆	
7	国語「大きなかぶ」 道徳「学ようひんのないしょばなし」	
9		
10	生活「たのしいあきいっぱい」	
11	国語「いろいろなふね」	
12	生活「じぶんでできるよ」☆ 道徳「おてつだい」☆	
1		
2	生活「あたらしい1年生といっしょにあそぼう」 算数「かえますか かえませんか」☆ 「100までのかずのけいさん」☆ 道徳「ぞうきんがけ」	
3	生活「もうすぐ2年生」	

( 2 )年

	教科・道徳	特別活動
4		児活「1年生を迎える会」 児活「縦割り活動」  児活「人権集会」 学活「カレンダーを作ろう」  学活「おへそのひみつ」 児活「6年生を送る会」
5	生活「やさいをそだてよう」	
6	生活「どきどきわくわく町たんけん」☆	
7	生活「生きものなかよし大作せん」 道徳「おふろそうじ」 算数「買えますか？買えませんか？」	
9	国語「話したいな、とくいなこと」 生活「うごく うごく わたしのおもちや」☆	
10	生活「冬やさいをそだてよう」	
11	国語「名人をしょうかいしよう」	
12	国語「きいてつたえよう」	
1	道徳「わたしの名まえはともこ」	
2		
3	生活「あしたへジャンプ」	

( 3 )年

	教科・道徳	総合的な学習	特別活動
4	社会「学校のまわり」	「発見！林の町」☆ 「ATMや銀行」☆  「大すき 林の町」  「カレンダーを作ろう」  「未来にのびる林の町」	児活「1年生を迎える会」 児活「縦割り活動」  児活「人権集会」  児活「6年生を送る会」
5	国語「自分をしょうかいしよう」		
6	算数「たし算とひき算の筆算」☆		
7	「一億までの数」☆		
9	社会「店ではたらくひと」☆		
10	社会「工場（農家）のしごと」☆		
11	国語「はたらく犬についてしらべよう」		
12			
1	国語「わたしたちの町をしょうかいしよう」		
2	社会「かわってきた人々のくらし」		
3	社会「のこしたいもの、つたえたいもの」☆		

( 4 )年

	教科・道徳	総合的な学習	特別活動
4	社会「くらしを守る」		児活「1年生を迎える会」
5	国語「こわれた千の楽器」	「やさしさいっぱい林の町」	児活「縦割り活動」
6			
7	国語「わたしの考えたこと」	「やさしさの輪を広げよう」	
9			
10		「カレンダーを作ろう」	
11	算数「がい数とその計算」☆		児活「人権集会」
12			
1	社会「特色ある地域と人々のくらし」	「自分の生き方を考えよう」	
2	国語「10さいのわたし」文集を作ろう		学活「1/2成人式を開こう」
3	算数「もうすぐ5年生」☆		児活「6年生を送る会」

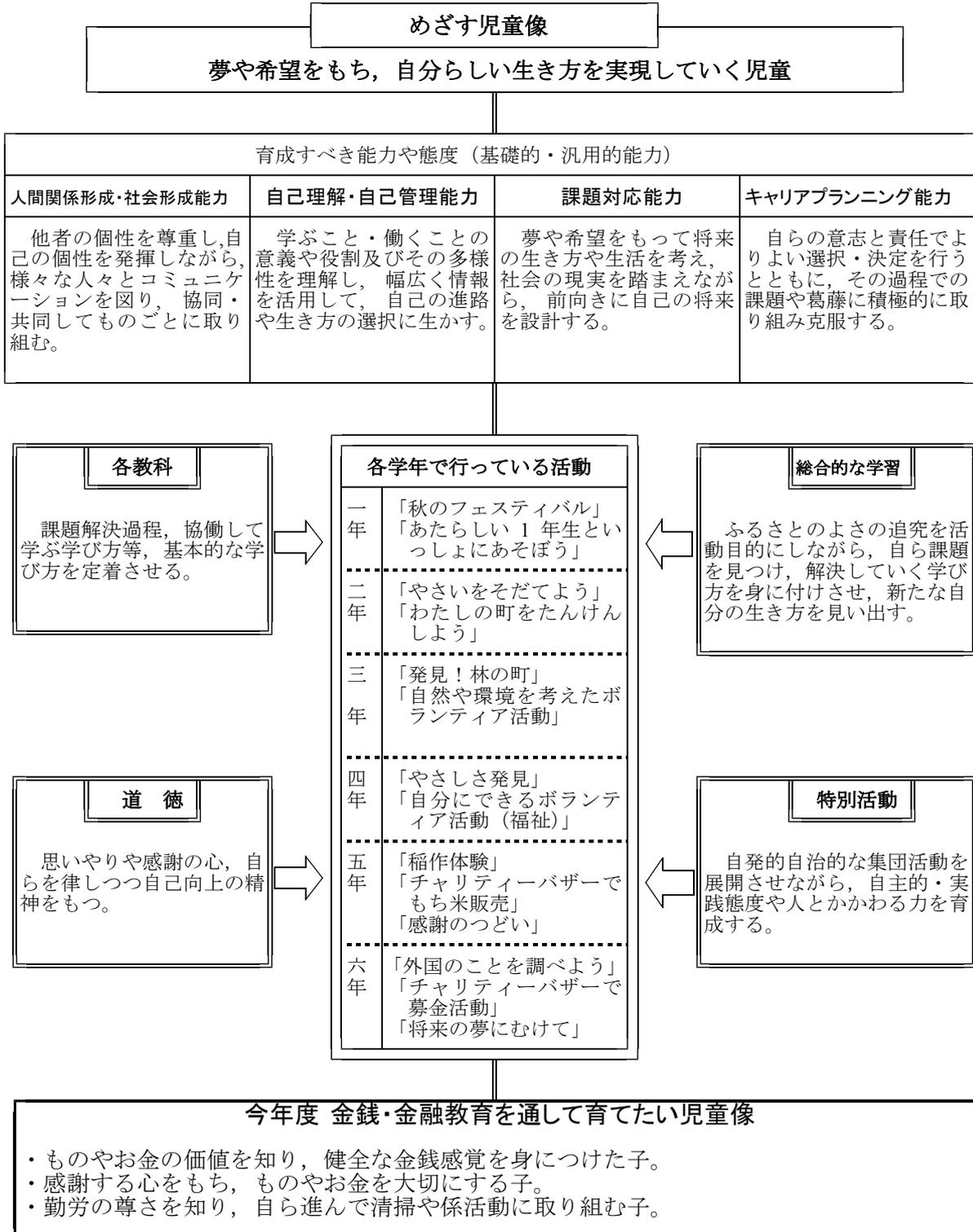
( 5 )年

	教科・道徳	総合的な学習	特別活動
4	外国語「世界のいろいろな言葉であいさつをしよう」		児活「1年生を迎える会」
5	家庭「わが家にズームイン」☆	「稲作体験」☆	児活「縦割り活動」
6	社会「わたしたちの国土生活と食料生産」☆		学行「宿泊学習」
7	国語「立場を決めて討論をしよう」		
9	社会「わたしたちの生活と工業生産」☆		
10	家庭「食べて元気!ご飯とみそ汁」		
11	家庭「めざそう買い物名人」☆		
12	社会「情報化した社会とわたしたちの生活」☆	「チャリティーバザーでお米を売ろう」☆	児活「人権集会」
	国語「伝記を読んで感想文を書こう」	「感謝のつどい」☆	
1	理科「人のたんじょう」	「カレンダーを作ろう」	
2	国語「わたしたちとメディアとの関わりについて考えよう」☆	「稲作を通して学んだことを伝えよう」	児活「6年生を送る会」
3			

( 6 )年

	教科・道徳	総合的な学習	特別活動
4	国語「サボテンの花・生きる」		児活「1年生を迎える会」
5	家庭「わたしの仕事と生活時間」	「外国のことを調べよう」	児活「縦割り活動」
5	国語「イースター島にはなぜ森林がないのか」		
6	外国語「できることを紹介しよう」	「人権・同和問題学習」	
7	道徳「黄熱病とのたたかい」		
9	道徳「お茶を通して知った日本人の心」		
10	国語「海のいのち」☆	「カレンダーを作ろう」	学行「修学旅行」☆
10	家庭「まかせてね 今日食事」		児活「人権集会」
11	社会「新しい日本, 平和な日本へ」		
12	社会「子育て支援の願いを実現する政治」☆		
12	社会「震災復興の願いを実現する政治」☆		
1	国語「プロフェッショナルたち」	「未来へのメッセージ」	児活「6年生を送る会」
2	国語「未来へのメッセージ」を書こう		
2	社会「世界の未来と日本の役割」☆		
3	外国語「夢宣言をしよう」		
3	国語「君たちに伝えたいこと」		

## キャリア教育全体計画



## 資料3 指導計画書

### 第5学年 家庭科学習指導案

1 日時 平成29年9月28日(木)

2 単元名 「食べて元気! ご飯とみそ汁」「めざそう買い物名人」

#### 3 主張点

##### (1) 実践的・体験的な活動の工夫

家庭で作ってみたいという意欲をもち、実生活へつなげられるように、各家庭の食の願いにそったテーマを見付け、栄養教諭の話や試食からみそ汁の実を吟味することで、より具体的な調理実習の計画を立てることができるだろう。

##### (2) ストーリー性のある題材配列の工夫

調理と買い物を単独で考えるのではなく、「食べて元気! ご飯とみそ汁」と「めざそう買い物名人」の単元を織り交ぜながら、問題解決的な学習を取り入れる。実生活をイメージして、買い物をし、調理をすることを一連の流れとして学習することで、よりよい家庭生活について積極的に考え、実践的な態度を育てることができるだろう。

#### 4 単元について

本単元は学習指導要領の目標(1)「衣食住の家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、自分の成長を自覚するとともに、家庭生活への関心を高め、その大切さに気付くようにする。」を受け、内容B「日常の食事と調理の基礎」(3)ア「調理に関心をもち、必要な材料の分量や手順を考えて、調理計画を立てること。」を取り扱う。また、(2)イ「食品の栄養的特徴を知り、食品を組み合わせるとる必要があることが分かること。」も、栄養教諭とともにT・Tで学習を進めることで、学習内容を深めていく。合わせて、内容D「身近な消費生活と環境」(1)イ「身近な物の選び方、買い方を考え、適切に購入できること。」を関連させて、学習を展開する。

本単元では、ご飯とみそ汁の調理ができることと合わせ、身近な物の選び方、買い方を考え、適切に購入できることをねらいとしている。

現代社会において、インスタント食品や総菜など、手軽にとれる食事をしている家庭も多い中、ご飯とみそ汁の調理について学習することは、とても重要なことである。ご飯とみそ汁は、我が国の伝統的な日常食であり、児童にとって身近な献立で、興味をもちやすい。給食で食べたり、家庭でも日常的に食べたりすることの多いみそ汁の、作り方や栄養的なよさについて、再認識することは大変意義深い。将来自分で食事を準備し、調理する立場になった時に必要不可欠であり、今後家庭で取り入れていこうとする、実践的態度が育つと考えた。食事を用意してもらっている現在も、食べ物をバランスよく食べることの大切さを理解することは、健康な生活を送り、心身を健全に成長させるために、非常に重要なことである。一食の食事にみそ汁を加えることによって、不足しがちな栄養素を含む食品を、みそ汁の実として取り入れることで、必要な栄養素をより多く、手軽に取り入れることも学べる。

児童を取り巻く社会は、物があふれ、お金を出せば何でも手に入り、購入に迷ったり我慢したりすることが少ない。また、一人で買い物をする経験が少なく、親と一緒に買い物をしている、好みや価格のみで選ぶ傾向にある。そこで、物を購入する際、計画的にお金を使うこと、必要な情報を集めて判断することなどを学ぶことが、日常生活でよりよい消費者になると考えた。

本単元で、調理することと合わせて、身近な物の選び方、買い方を学ぶことは、よりよい家庭生活を送る上で重要なことである。買い物をし、調理をするという一連の流れを経験することで、自分自身の現在と将来にわたって、家庭生活について積極的に考え、実践的な態度を育てることができるだろう。

#### 5 児童の実態(男子17名、女子18名、計35名)

5年生になって初めて習う家庭科の授業に興味・関心は高く、どの単元にも意欲的に取り組む児童が多い。しかし、児童の生活経験が乏しいため、生活とつないで考えられなかったり、思うように進まなかったりして、習得までの時間がかかっている。しかし、それだけ、できるようになった時の喜びは大きく、できるようになったことを日常生活の中で生か

してみたいという意欲へとつながると思われる。

児童は実生活で、あまり深く考えずに物を購入したり、与えられたものを食べたり使ったりしていることが多い。今回、みそ汁の実を選択する機会をもち、こだわりのあるオリジナルみそ汁を調理することによって、自分たちで選択することの責任や、買い物と調理する一連の流れを意識した消費者として、学習することができるだろう。

アンケート結果によると、「みそ汁をどれぐらいの頻度で食べているか」という問いに、15人が1週間に1・2回と最も多く、次いで11人が1週間に3～6日という結果だった。朝・昼・晩で主食がご飯と答えたのが晩ご飯100%と多く、朝ご飯は40%、昼が51%となっている。以上の結果から、晩ご飯にご飯を主食とし、みそ汁も1週間に1・2回は食べている家庭が多いことが分かった。

みそ汁に入れる実の種類は、①とうふ(29人)②わかめ(24人)③ねぎ(17人)④たまねぎ(12人)⑤油揚げ(10人)⑥大根(6人)……(複数回答)という結果であった。みそは合わせみそが26人、だしは、顆粒だし・だしパックが18人などと多く、いりこだしでとっているのは11人であった。これらの結果から、各家庭で、みそ汁は晩ご飯の副菜の一つとして、基本的な実を入れたもので、手軽に作れる顆粒だし・だしパックが多いことが分かった。

買い物経験を尋ねたところ、一人で買い物をしたことの児童は10人。それに対して、ほとんどないというのが25人と大半を占め、多くが家族と一緒に食事の買い物に行っているという結果が出た。買い物をするとき、気を付けていることは、①値段(27人)、②量(9人)②品質(9人)、④産地(8人)、⑤パッケージ(7人)という順に多かった(複数回答)。それ以外にも、賞味期限や添加物といったことにも気を配っている家庭もあった。晩ご飯のメニューを決めるときには、その日の気分で選ぶ(15人)というものが多く、中には季節や旬を考えているという家庭もある。保護者と一緒に買い物に行っている児童が多く、親の買い物の仕方から学んだり、家庭の考えに左右されることが大きいことが分かった。

## 6 主張点に迫るための工夫について

### (1) 実践的・体験的な活動の工夫

基礎的・基本的な知識と技能を確実に身に付け、実生活に応用することのできる力を育てるため、実践的・体験的な活動を工夫して組み込んでいく。本単元の活動の中では、みそ汁の作り方で、だしの飲み比べをしたり、だしを「とる前」と「とった後」の煮干しやみそを食べ比べたりするなど、比較検討する体験を入れる。また、我が家のみそ汁調べをしたり、みそを使った料理を調べたりしてみそ汁に対する興味をもてるようにする。

本時では、「オリジナルみそ汁を作ろう」という課題について、どのような思いや観点を重視するかによって、みそ汁の実として、選ぶ商品が変わってくることを実感・体感する場を設定する。

各家庭によって、食に対して重要視することは個々に違う。また、家族構成、家族の願い、好みも異なるが、より近い願いや同じような食材を入れたい児童でグループを組み、みそ汁を作る共通のテーマを考える。そのテーマにそってみそ汁の実を選択する中で、材料は価格、量、栄養、品質、食品の特徴など、今までに学習したこととつないで選択する必要性に気付かせる。

栄養教諭とT・Tで学習を展開する中で、栄養面の指導や食べ比べの体験も織り交ぜ、よりおいしいオリジナルみそ汁の実について考えさせる。栄養教諭から、栄養についての専門的な知識や情報を得ることができ、食品を組み合わせる必要性を学ぶ。例えば、給食で食べているいろいろなみそ汁を示し、多種多様な食材を簡単においしく食べられることや、一緒に食べ合わせることで栄養を補い合うことにも円グラフを活用し、視覚的に気付かせる。そうすることで、みそ汁を一食の食事に付け加えるよさや、みそ汁の実を工夫していく大切さも実感することができるだろう。

基本の食材(だいこん・油揚げ・ねぎ)は実を入れる順序を学ぶためにも、試食のみそ汁の中にも入れておく。そこへ、おすすめの食材を入れることで、よりよい食べ合わせの物を見付けられるだろう。おすすめの食材は、各班のテーマに合うような利点が複数入り交じった物を選択しておく。だし(いりこだし)の取り方やみその種類は統一し、条件を同じにした上で、日本人に伝統的に食べられてきたみそ汁のよさについて気づかせたい。

班やクラス全体で、意見交流する中で、よりよいみそ汁の実を見付け、納得のいくみそ汁の実習計画を立てることができよう。次時の調理にすぐつなげられるように、具体的に実を入れる順や切り方なども書き込み、それを見ながら調理実習をすることで、自信をもって取り組むことができると考える。

(2) ストーリー性のある題材配列の工夫

「買い物名人になろう」とつないで、前時にみそ汁の実としても入れられる「わかめ」を取り上げ、商品情報（価格・量・パッケージ・産地・品質など）から、商品を選ぶポイントを学ぶ。単元の終末には、「おいしいオリジナルみそ汁を作ろう」という課題をグループごとにもつことで、調理に関心を持ち、必要な材料を吟味し、分量や手順を考えて、調理計画を立てることができるだろう。そうすることで、自分なりに工夫してみそ汁の実に入れようとする商品の情報を収集し、購入しようという意欲につながられるだろう。

ご飯とみそ汁の調理では、今まで教師が食材を選定し、買い物をした上で学習が展開することが多かったが、本単元で実際に近くのスーパーで視察し、テーマに合った、予算と決められた数の食材を自分たちで選ぶ。調理実習前には、選定したものを実際にお金を支払って、買い物もする活動を位置づける。身近なスーパーの売り場で、商品陳列を見ることで、商品の量や価格、商品の品質、産地、賞味期限、パッケージの情報などあらゆる観点で選ぶことの大切さを実感することができるだろう。班で話し合いをしながら、よりおいしいみそ汁を作るには、どのような食材を予算内に収めるのか、多様な考え方の選択肢があることを知り、その中で折り合いをつけながら決めていくことも、賢い消費者になるための大切な学習の一環と考える。

**7 単元の目標**

- (1) 日常とっている食事、特に日本の伝統的な日常食であるご飯とみそ汁に関心を持ち、食事の役割を考えて食事を大切にしようとする。(関心・意欲・態度)
- (2) ○おいしいご飯及びみそ汁の調理の仕方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。(創意工夫)  
○物や金銭の計画的な使い方と適切な買い物について課題を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしている。(創意工夫)
- (3) 安全や衛生に気を付けて、ご飯とみそ汁を調理することができる。(技能)
- (4) 五大栄養素の種類と働きや栄養を考えて食事を取るものの大切さやご飯及びみそ汁の調理の仕方について理解している。(知識)

8 単元構成・評価基準

題材 (全10+7時間)	時	学習活動の めあて	評価規準・評価方法			
			家庭生活への関心・ 意欲・態度	生活を創意工夫 する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
食べて元気！ ご飯とみそ汁	10	毎日の食事のとり方を振り返り、よりよい食生活を送ろう。自分でご飯とみそ汁が調理できるようになろう。	日常とっている食事、特に日本の伝統的な日常食である米飯とみそ汁に関心を持ち、食事の役割を考えると食事を大切にしようとする。	おいしい米飯及びみそ汁の調理の仕方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。	安全や衛生に気を付けて、ご飯とみそ汁を調理することができる。	五大栄養素の種類と働きや栄養を考えると食事をとることの大切さや米飯及びみそ汁の調理の仕方について理解している。
1 毎日の食事を見つめよう	1	毎日の食事を振り返り、何を食べる人が多いか調べよう。我が家のみそ汁調べもしよう。 教科書 p26・27	日常とっている食事に関心を持ち、食事の役割を考えると食事を大切にしようとしている。 (ワークシート)			
2 なぜ食べるのか考えよう	2	栄養素とその働きを知り、伝統的な日常食である、ご飯とみそ汁について知ろう。 教科書 p28・29・34	日本の伝統的な日常食である米飯とみそ汁に関心をもって調べている。(ノート)だしやみそに関心を持ち、調べている。 (行動観察)			五大栄養素の種類と働きを知り、食品を組み合わせることで栄養のバランスがよい食事になることを理解している。 (ワークシート)
	3					
	4	おいしいみそ汁の作り方を調べて計画を立てよう。 p32・33		おいしいみそ汁の調理の仕方について考えている。 (ワークシート)		
めざそう買い物名人	7	物やお金を大切に、かきこい買い物ができるようになろう。	物や金銭の計画的な使い方に関心を持ち、物や金銭を大切に、適切に買い物をしようとしている。	物や金銭の計画的な使い方と、適切な買い物について課題を見付け、その解決をめざして考えたり、自分なりに工夫したりしている。	物や金銭の計画的な使い方と、適切な買い物に関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。	物や金銭の計画的な使い方と、適切な買い物に関する基礎的・基本的な方法を理解している。
1 お金の使い方を見つめよう	1	生活を支えるお金の大切さを考え、買い物の仕方を見直そう。 p36・37	自分の生活との関わりから、物や金銭の大切さに気付き、その使い方に関心をもっている。 (ワークシート・アンケート)			限りある物や金銭の有効な使い方について理解している。 (ノート)
2 買い物名人になろう		目的に合った計画的な買い物ができるようにしよう。				目的や品質を考えた物の選び方や適切な買い方について理解している。 (ノート)
	2	(1)必要性や目的を考えよう。 p38・39		購入しようとする物の品質や価格などの情報を活用し、目的に合った物の選び方や買い方について考えている。 (ワークシート)		
	3	(2)情報を集めて、比べて考えよう。(わかめで考えよう。) p40・41				

題材 (全10+7時間)	時	学習活動の めあて	評価規準・評価方法			
			家庭生活への関心・ 意欲・態度	生活を創意工夫 する能力	生活の技能	家庭生活について の知識・理解
3 買い物名人として 生活しよう	4 5 6 7	<p>買い物名人として どんな工夫ができる か考えよう。 p42・43</p> <p>(1)みそ汁に合う実 を考え、予算にあ う、買い物の計画 を立てよう。</p> <p>(2)スーパーに行っ て、値段・量・産 地などを見て、食 材を選んでみよう。</p> <p>(3)班で考えたオリ ジナルみそ汁の実 を紹介するパンフ レットを作ろう。</p>	<p>班ごとに、折り合い を付けながら、みそ 汁に合う食材につい て選ぼうとしている。 (行動観察)</p>	<p>予算、みそ汁の取 り合わせを考えて、 自分たちのオリジ ナルみそ汁を考え ている。 (画用紙)</p>	<p>購入しようとする物 の品質や価格・量な ど、みそ汁にあう実 の取り合わせの情報 を集め、整理するこ とができる。 (メモ)</p>	
2 なぜ食べるのか 考えよう	5 6 7 8 9	<p>テーマに合ったよ りおいしいオリジ ナルみそ汁の実を 見付け、調理実習 の計画を立てよう。 (本時)</p> <p>みそ汁の食材を スーパーに買いに 行って、オリジナル みそ汁を作っ てみよう。</p> <p>ご飯の炊き方を調 べ、炊いてみよう。 炊飯の様子を観 察し、米からご飯 への変化の仕方を 調べよう。 p30・31</p>	<p>学習したことを生 かして、よりよい 買い物の仕方を考 えて、買い物をし 、調理している。 (行動観察)</p> <p>炊飯の様子を観 察し、変化の仕方を 記録している。 (ワークシート)</p>	<p>テーマにそったお いしいオリジナル みそ汁の実を吟味 し、食材にあった 切り方や実を入れ る順を考えている。 (ワークシート)</p>	<p>調理に必要な用具 等を安全で衛生的 に取り扱い、みそ 汁の調理ができる。 (行動観察)</p> <p>正しい手順で安全 や衛生に気を付け て、米飯の調理が できる。 (行動観察)</p>	<p>調理において適切 な材料の切り方、煮 る順番等を理解し ている。 (行動観察) (ワークシート)</p> <p>米の洗い方、水加減 、浸水時間、加熱の 仕方等について理解 している。 (行動観察)</p>
3 毎日の食生活に 生かそう	10	<p>ご飯やみそ汁の調 理で身に付けたこ とを、家庭生活に 生かそう。</p>	<p>身近な物(家庭にあ る食材)や金銭の 使い方を見直し、計 画的な調理に生か そうとしている。 (行動観察)</p>	<p>家族のために、栄養 バランス・好み・値段 ・食べ合わせなどを工 夫して我が家のオリ ジナルみそ汁を考え ている。 (ワークシート)</p>		

9 本時の学習

- (1) 目標 栄養教諭の話や試食をもとに、「家族のために作ってみたいみそ汁」のテーマにそった実について、グループごとに考え、調理実習の計画を立てることができる。
- (2) 学習指導過程

学習活動	児童の意識の流れ	教師の支援と評価
<p>1 自分たちのグループのテーマと、食材、栄養素によって色分けされたシール、一人分の価格を確認する。</p>	<p>我が家で作ってみたいみそ汁のテーマごとに分かれたグループで、みそ汁の実をスーパーに行ってみてきたよ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>お財布にやさしい 低価格みそ汁</p> <p>③ 2 もやし ③ 2 しめじ 一人分〇〇円</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>野菜たっぷり ヘルシーみそ汁</p> <p>③ 3 ほうれん草 ③ 1 たまねぎ 一人分〇〇円</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>パッと作れる 時短みそ汁</p> <p>③ 2 わかめ ③ 2 とうふ 一人分〇〇円</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ボリューム満点 みそ汁</p> <p>③ 3 そうめん ③ 2 餅入り巾着 一人分〇〇円</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>見た目にきれいな カラフルみそ汁</p> <p>③ 1 にんじん ③ 2 わかめ 一人分〇〇円</p> </div> </div> <p>テーマに合った、よりおいしいオリジナルみそ汁の実を見つけ、調理実習の計画を立てよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みそ汁についての知識を増やせるように、各地のみそ汁の紹介をしたり、我が家のみそ汁調べをしたりしておく。</li> <li>テーマにそったみそ汁の実を考えられるように、前時にスーパーに行って、グループごとに基本のみそ汁に付け加える2種類のみそ汁の実を選択しておく。(各グループ300円以内)</li> <li>次時の調理実習ですぐ生かせるように、基本のみそ汁(1大根・2油あげ・みそ・3ねぎ)の実を入れる順と、付け加えたい実を入れる順を書き加えておく。</li> <li>入れる実が五大栄養素の何に当たるのかが、視覚的に見て分かるように、5色に色分けされたシールを食材名の横に貼っておく。</li> <li>他の班との比較や、どの実を入れるかを吟味した後で、どのように価格が変わったか分かるように、一人分の金額を提示する。</li> </ul>
<p>2 どのような食材が、自分たちのグループのみそ汁のテーマに合うか、給食のみそ汁やおすめの食材について栄養教諭の話聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より簡単に調理できる食材があるんだな。朝ご飯にもよさそうだな。</li> <li>1つ食材を変更することで、足りない栄養素が手軽に取ることができるよ。</li> <li>少しの工夫で、見た目の色取りや栄養バランスがよくなるんだね。食べてみたいな。</li> <li>身近にある(冷蔵庫の中、乾物類など)食材を使うと、家ではお金を使わずに手軽にできるな。</li> <li>選んだ食材でよいと思っていたけれども、もっといろいろな食材を試してみたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い視野で食材を選ぶ工夫として、不足しがちな栄養素を取ることができる食材や、家で簡単に作れる食材を、栄養教諭が紹介する。</li> <li>給食を例に、みそ汁を一食の食事に加えることで、様々な栄養素が豊富にとれることを視覚的に捉えることができるように、円グラフで示す。</li> <li>低価格で抑えることとして、家では冷蔵庫に入っている物や、長期保存が可能な乾物を利用する方法もあることを伝える。</li> </ul>
<p>3 どのような食材の組み合わせがおいしいと感じるか、「基本のみそ汁」と「おすめの食材を基本のみそ汁に加えたみそ汁」を食べ比べる。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>③ 2 レタス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手でちぎって手軽にできる。</li> <li>よく残りが冷蔵庫に入っている。</li> <li>何にでも合う。</li> <li>食感がよい。</li> </ul> <p>(4~5人分〇円)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>③ 1 カボチャ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑の濃い野菜がとれる。</li> <li>見た目にきれい。</li> <li>柔らかく甘い。</li> <li>ビタミンが豊富。</li> </ul> <p>(4~5人分〇円)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>③ 1 ベーコン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パックの残りを無駄なく使える。</li> <li>見た目にきれい。</li> <li>タンパク質が豊富。</li> <li>うま味が出る。</li> </ul> <p>(4~5人分〇円)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>③ 2 すいとん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お腹いっぱいになる。</li> <li>小麦粉と水で手軽にできる。</li> <li>材料費が安い。</li> <li>家にある食材。</li> </ul> <p>(4~5人分〇円)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>③ 2 さつまいも</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>秋が旬の食材。</li> <li>安くておいしい。</li> <li>不足しがちな食物繊維やビタミンが豊富。</li> </ul> <p>(4~5人分〇円)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>③ 1 トマト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見た目にきれい。</li> <li>うま味がある。</li> <li>酸味が減って、苦手な人も食べやすい。</li> <li>色の濃い野菜がとれる。</li> </ul> <p>(4~5人分〇円)</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマにそった、よりよい食材が見つかるように、利点が複数含まれる食材を提示し、試食できるよう準備しておく。</li> <li>利点が比べやすいように、食材の五大栄養素の色シール、入れる順、価格を前に提示しておく。</li> <li>食材の食べ合わせを比べやすいように、基本の食材(大根・油揚げ・ねぎ)とみそ、煮干しなどは共通にそろえておく。</li> </ul>
<p>4 グループで実を見直し、変更した場合は、理由を加えて発表するなど、調理実習の計画を立てる。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>もやし→レタス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>もやしよりも食感がよさそう。</li> <li>レタスの緑色が入って見た目にきれい。</li> <li>冷蔵庫によく入っているから、家では買わずに済ませよう。</li> </ul> <p>一人分〇〇円</p> <p>① だいこん(いちよう切り) ② 油揚げ(短冊切り) しめじ(石づきをとる) レタス(手でちぎる)</p> <p>みそ ③ ねぎ(小口切り)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ほうれん草→カボチャ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ほうれん草のあくが出そう。</li> <li>ほうれん草は高かった。</li> <li>カボチャも同じビタミンの仲間、色もよくなったよ。</li> </ul> <p>一人分〇〇円</p> <p>① だいこん(いちよう切り) かぼちゃ(いちよう切り) たまねぎ(薄切り) ② 油揚げ(短冊切り)</p> <p>みそ ③ ねぎ(小口切り)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>そのままにするよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>わかめととうふはすぐにできるよ。</li> <li>乾物類は家にあるよ。</li> <li>手間がかからず、自分でも入れるだけですぐできそう。</li> </ul> <p>一人分〇〇円</p> <p>① だいこん(いちよう切り) ② 油揚げ(短冊切り) わかめ(そのまま) とうふ(角切り)</p> <p>みそ ③ ねぎ(小口切り)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>そうめん→すいとん 餅入り巾着→さつまいも</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すいとんとさつまいもでお腹がいっぱいになりそう。</li> <li>さつまいもの甘みがおもしろかった。</li> <li>小麦粉はいつでもありそうだな。</li> </ul> <p>一人分〇〇円</p> <p>① だいこん(いちよう切り) すいとん(水で練っておく) さつまいも(いちよう切り) ② 油揚げ(短冊切り) みそ ③ ねぎ(小口切り)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>にんじん→トマト わかめ→ベーコン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>赤色が入ってきれいだよ。</li> <li>トマトが食べたらおいしかったよ。</li> <li>ベーコンが豚汁のような味だよ。</li> </ul> <p>一人分〇〇円</p> <p>① だいこん(いちよう切り) トマト(角切り) ベーコン(細切り) ② 油揚げ(短冊切り)</p> <p>みそ ③ ねぎ(小口切り)</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>変更前と変更後の価格がどれぐらい変わったか、一人分の値段に計算し直せるように、電卓を各グループに配布しておく。</li> <li>よりよいテーマにそったみそ汁になったことを、変更した理由を画用紙に書き加え、発表することで、全体交流できるようにする。</li> <li>次時の調理実習にすぐに生かせるように、切り方等の工夫など、気付いたことは書き加えていくよう助言し機間指導する。</li> <li>グループによって同じ食材が出た場合には、調理実習の際に分け合って使うことで、価格が抑えられたり、食材のあまりが出なくなったりする利点があることを紹介する。</li> </ul>
<p>5 次時の学習活動の見直しをもつ。</p>	<p>テーマにそった、よりおいしいオリジナルみそ汁の実を工夫し、調理実習の計画ができたよ。</p> <p>次の時間には、自分たちが選んだみそ汁の実の材料を買って、みそ汁を作ってみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④ テーマにそったみそ汁の実を吟味し、選んだ食材の特徴を考えた、入れる順や切り方を書き込んだ調理実習カードを書くことができたか。</li> <li>自分たちで作ってみたいという意欲がもてるように次時には、買い物に行って、調理実習に取り組むことを予告する。</li> </ul>